

田澤由利の自己紹介



- 内閣府 女性の再チャレンジ賞(個人)
- アメリカ国務省の「IVLP」にてアメリカのテレワークを視察(個人)
- 日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2009」7位(個人)
- 福田総理大臣(当時)へ女性864人の生の声と政策を提言
- 第3回ワーク・ライフ・バランス大賞 奨励賞(YSS)
- Japan Venture Awards 2008 起業家部門 奨励賞(YSS)
- 経済産業省「ハイ・サービス日本300選」に選定(YSS)
- 日経地域情報化大賞2008「日経産業新聞賞」受賞 (YSS)
- 東京都ワークライフバランス企業に認定 (TWM)
- テレワーク推進賞 奨励賞(YSS・TWM)

田澤由利さん(46歳)
株式会社ワイズスタッフ 代表取締役
在宅勤務者を組織
テレワークの
先駆者として注目を浴びる

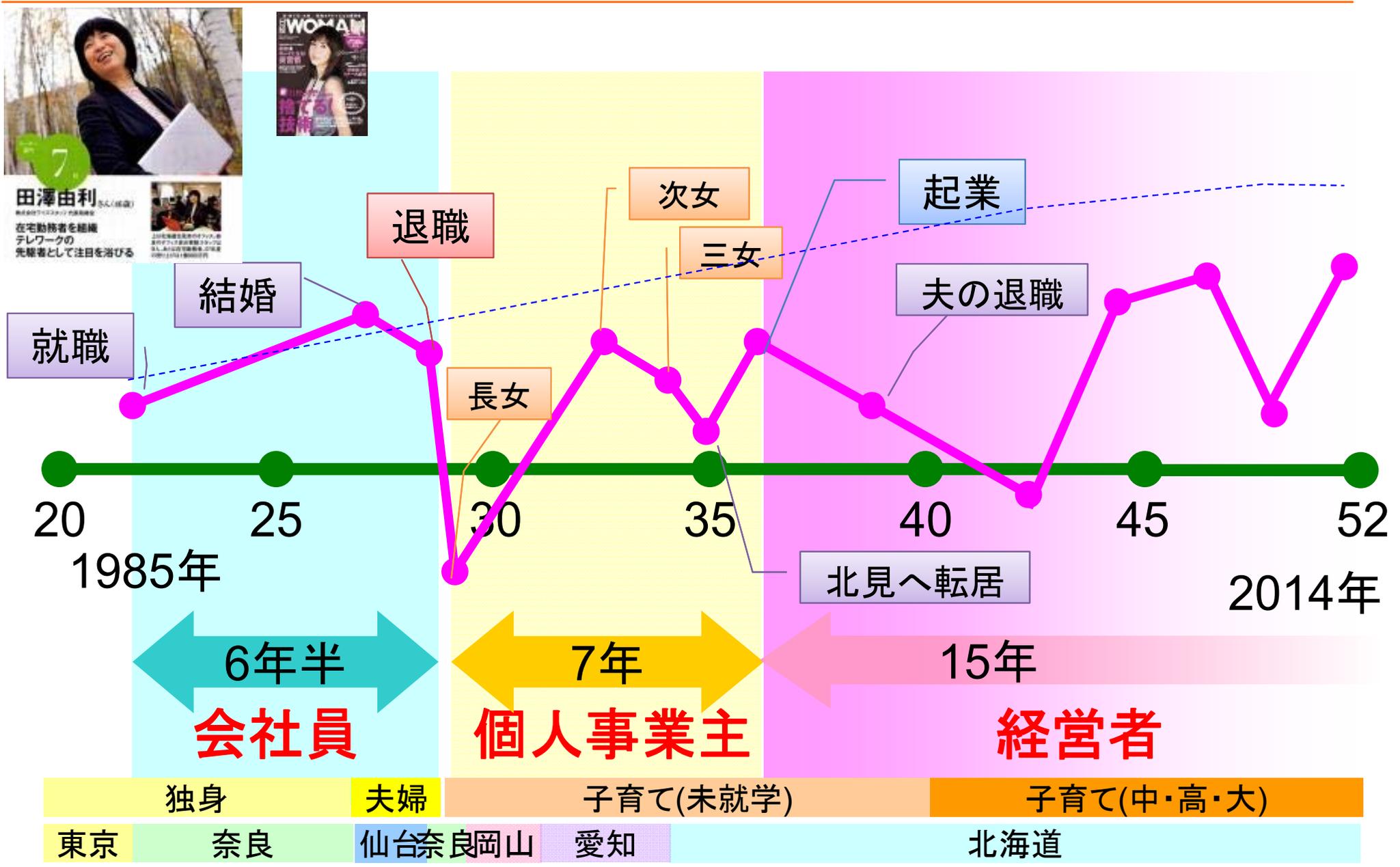


上は北海道北見市のオフィス、奈良のオフィスを含め常駐スタッフは9人。あとは在宅勤務者。07年度の売り上げは1億5600万円

- ・内閣府 政策コメンテーター
- ・厚生労働省在宅勤務モデル実証事業検討会委員
- ・総務省 地域情報化アドバイザー
- ・北海道教育委員会 委員
- ・北海道労働局 雇用均等行政推進員
- ・北海道商工業振興審議会委員
- ・奈良県 こども・子育て応援県民会議委員
- ・北海道観光振興機構 女性アドバイザー・ボード
- ・奈良のむらづくり協議会 副代表幹事
- ・特定非営利活動法人 奈良NPOセンター理事
- ・NPO法人 電子自治体アドバイザークラブ理事



田澤由利の仕事曲線

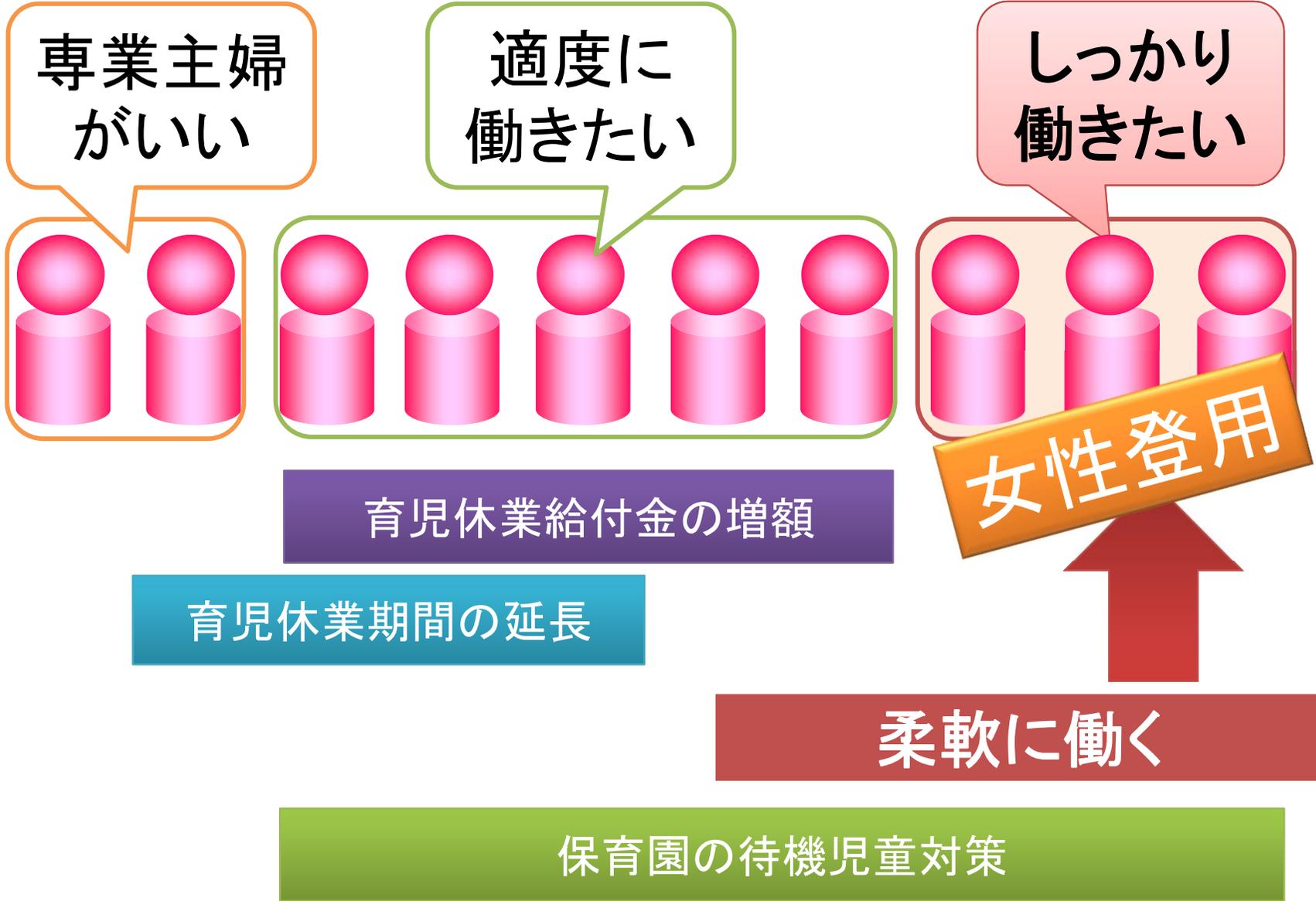


企業経営者・働く女性・母親・地域在住者、さまざまな立場からテレワーク推進に取り組みます

田澤由利が安倍総理にお会いした時に、お話した内容



女性が10人いれば、仕事に対する思いもさまざまです。



休む

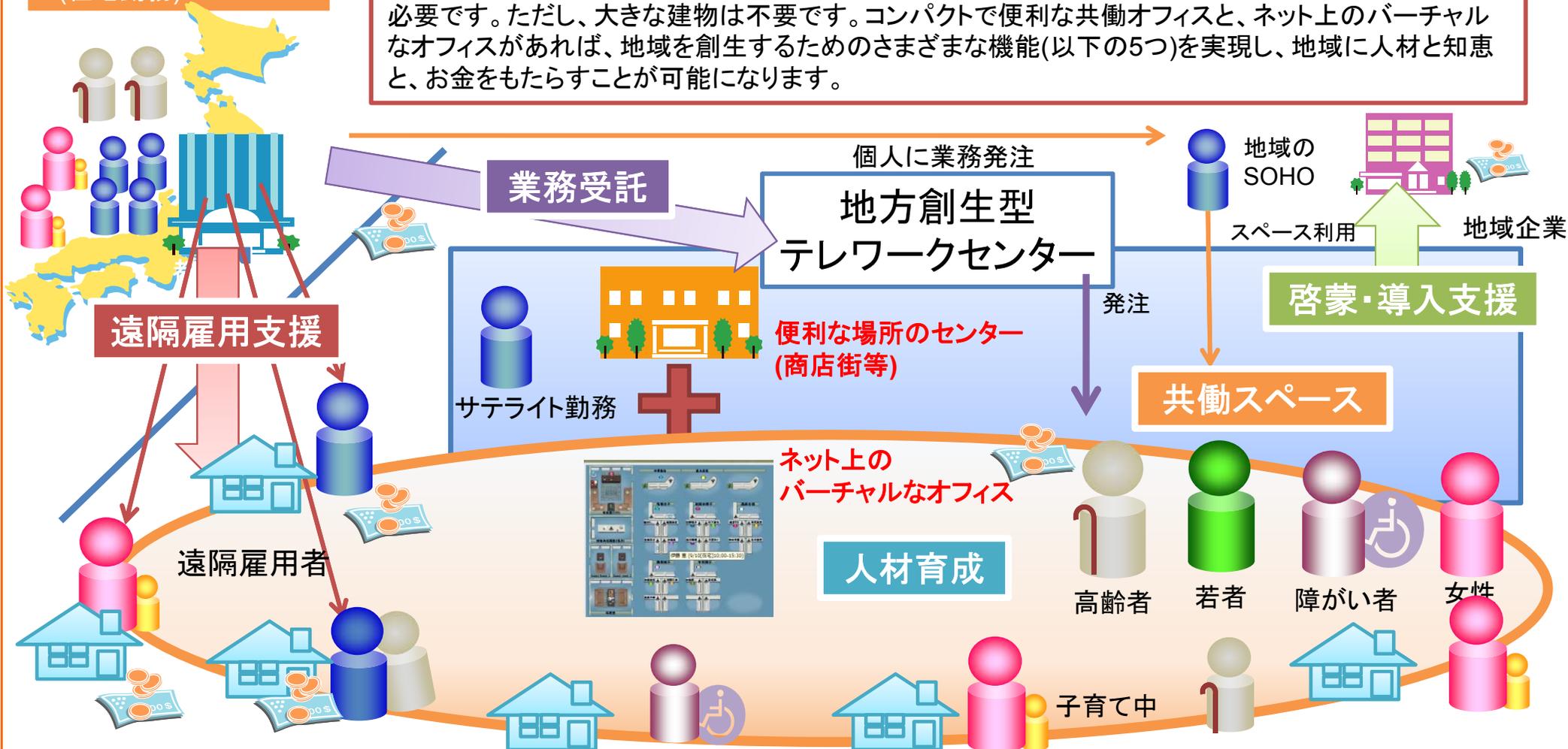
働く



地方創生型テレワークセンターの提案

良質なテレワークの導入
(在宅勤務)

場所や時間に縛られない柔軟な働き方「テレワーク」が地域を救います。まず、都心企業への在宅勤務制度の普及が重要なカギになります。同時に地域にも、良質なテレワークを地元で展開する拠点がが必要です。ただし、大きな建物は不要です。コンパクトで便利な共働オフィスと、ネット上のバーチャルなオフィスがあれば、地域を創生するためのさまざまな機能(以下の5つ)を実現し、地域に人材と知恵と、お金をもたらすことが可能になります。



遠隔雇用支援

- ・ 遠隔雇用支援
- ・ サテライト支援

啓蒙・導入支援

- ・ 地域企業への啓蒙
- ・ 在宅勤務導入支援

業務受託

- ・ 都心企業から受託
- ・ 地域への発注

人材育成

- ・ IT業務スキル研修
- ・ テレエデュケーション

共働スペース

- ・ 作業・打合スペース
- ・ 情報交換・仲間作り